

事務事業名	児童館管理運営委託事業				担当部	こども未来部	担当課	こども政策課						
実施計画	2	年目												
新基本計画	市政戦略編	○	分野別計画編	3	教育・子育て	13	子育て支援	2	地域の子育て・子育てを支援します					
予算区分	一般会計	款	3	民生費	項	3	児童福祉費	目	5	児童館費	大	3	中	1
根拠法令・個別計画	① 小牧市児童館の設置及び管理に関する条例 ② 小牧市子ども・子育て支援事業計画 ③													
目的	何(誰)を対象に	児童、保護者												
	どのような状態にするか	地域児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と協力連携しながら、児童をはじめ地域住民に親しまれる児童館とする。また、子どもたちがいつでも自由に利用できる、安全で安心な遊び場としての機能を備えるとともに、子ども達に健全な遊びや情報の提供を行う。												
手段	どのような事業を実施するか	<p>児童館において、こどもに健全な遊びを提供したり、子育て支援室において育児相談にのることにより子育て・子育てを支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○英語に親しむプログラム ・乳幼児の頃から英語に親しむ講座を提供することにより、将来世界中で活躍したいと思えるような機会をつくる。 ○児童館子育て支援室の設置 ・各児童館に子育て支援室を設置し、専任の職員を常駐させ、気軽に子育てに関する相談ができる環境をつくる。 												
	事業内容													
事業の概要	年度別事業内容	28年度	<p>○英語に親しむプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各児童館で英語に親しむ講座を開催した。 受講者数(講座開催)実績 大城児童館：1209人(48講座)、篠岡児童館：754人(36講座)、味噌児童館：1497人(36講座)、西部児童館：311人(6講座) 小牧南児童館：147人(6講座)、小牧児童館：385(24講座)、北里児童館：397人(22講座) <p>○児童館子育て支援室の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各児童館に子育て支援室を設置し、専任の職員を常駐させ、気軽に子育てに関する相談ができる環境をつくった。 児童館子育て支援室来場者実績 北里児童館：11339人(相談101件)、大城児童館：20557人(相談71件)、篠岡児童館：10203人(相談85件)、西部児童館：13964人(相談47件)、 小牧児童館：24226人(相談53件)、小牧南児童館：21703人(相談51件)、味噌児童館30356人(相談180件) 											
	29年度	28年度と同程度の内容で実施												

事業費	財源内訳 (千円)	合計	H28		H29
			当初予算額	決算額	当初予算額
			212,600	208,904	212,100
		国支出金	4,437	4,590	4,595
		県支出金	4,437	4,590	4,595
		地方債	0	0	0
		その他	400	164	400
		一般財源	203,326	199,560	202,510
事業費内訳 (千円)	細々節	H28		H29	
		当初予算額	決算額	当初予算額	
	児童館管理運営委託料	212,600	208,904	212,100	
	うち英語事業			1,325	
従事者数	正職員(人数)	1	1	1	
	その他職員(人数)	0	0	0	

業績及び自己評価	ステップⅠ	影響を与える展開方向の指標		単位	目指す方向性	基準値	H26	H27	H28	H29
		①	児童館及び子育て支援センター利用者数	人	→	19,470	19,470	20,321	19,843	
	②		人							
基本施策の展開方向の指標に対する影響(貢献等)										
	H28 実施結果	中央子育て支援センターの利用者は減少しているものの、児童館の子育て支援室の利用者が、平成27年度の125,586人から132,348人となり6,762人増加した。児童館の子育て支援室が利用者に浸透したと思われる。								
業績及び自己評価	ステップⅡ	事業の成果指標		単位		H26	H27	H28	H29	
		①	英語に親しむプログラム講座参加者数	人	目標	-	-	4,200	4,700	
					実績	-	4,175	4,700		
	②	子育て支援室における相談件数	件	目標	-	-	-	-		
					実績	-	259	588		
業績及び自己評価	ステップⅢ	事業の活動指標		単位		H26	H27	H28	H29	
		①	英語に親しむプログラム開催数	回	目標	-	-	178	180	
					実績	-	129	184		
	②	児童館子育て支援室設置数	箇所	目標	7	7	7	7		
					実績	7	7	7		
事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因、今後の見通し										
	H28 実施結果	英語に親しむプログラムでは、講座の開催数を増やし、講座の参加者も増加した。利用者アンケートの中でも好評の意見をいただいた。子育て支援室における相談件数がH27年度129件からH28年度184件と大幅に増加した理由としては、相談を受けた際に相談シートを作成し書面で記録を残すよう強く指導したため、些細な相談でも記録に残すことになったためによる。今後も職員の能力向上を図り、職員間で情報を共有を図り相談しやすい環境をつくり育児不安の軽減を図る。								
	ステップⅢ	要因を踏まえた事業の見直し								
	H28 実施結果	英語の講座は保護者の関心が高く、また子育て支援室も育児支援の中心となるものであるため、今後も同規模の予算措置が必要。また、子育て支援室については、こども政策課で職員研修を企画・実施しており、今後も職員の資質向上のため引き続き実施する。								

一次評価	判定		判定理由
	事業の方向性	維持	現状規模で指定管理者による柔軟な児童館運営により、児童の健全育成や地域の子育て支援拠点の機能を果たすことができる。
	事業のボリュームを現状規模で維持するもの		

二次評価	判定		判定理由
	事業の方向性	維持	一次評価のとおり。
	実計ヒアリング実施要否	不要	
事業の位置づけ	実施計画事業として継続		